

2005年2月7日

報道用資料**ハイブリッド車の米国市場占有率、3%がピークの見通し****米国ハイブリッド車需要予測**

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィック（本社：東京都港区、代表取締役社長：蓮見南海男、略称：J.D. パワー）は、米国ハイブリッド車需要予測の結果を発表した。

米国ハイブリッド車需要予測は、米国市場におけるハイブリッド車の販売台数と新車販売全体におけるシェア（市場占有率）を予測するもので、J.D. パワーの米国本社である J.D. パワー・アンド・アソシエイツの市場予測部門 J.D. パワー - LMC が実施している。

ハイブリッド・モデルは 2011 年までに 38 車種に

2004 年、米国では 8 万 8 千台近くのハイブリッド車が販売され、新車市場全体の 0.52% を占めた。今年、米国市場のハイブリッド・エンジン搭載モデルの数は 8 車種から 11 車種に増え、販売台数は 20 万台以上に急伸び、新車市場におけるシェアは 1.19% になると予測される。また 2006 年までには 17 車種のハイブリッド・モデルが発売される見込みで、その場合、販売台数は 26 万台を上回り、シェアは 1.53% に達すると予測できる。さらに 2011 年までにハイブリッド・モデルは乗用車 17 車種、ライト・トラック 21 車種の合計 38 車種まで増え、販売台数は 53 万 5 千台、シェアで 3% に達するものと見られる。

このように今後 5 年間に渡ってモデル数と販売台数で大幅な増加が予測できるにもかかわらず、シェアは 2010 年末頃に約 3% に達した後、横ばいに推移すると見込まれる。これには主に 2 つの要因が挙げられる。ひとつには、ハイブリッド・エンジンを搭載していない車両と比較して価格が 3 ~ 4 千ドル高いこと、もうひとつはハイブリッドと競合する、より低燃費のガソリン車やディーゼル車が 2006 年以降に市場投入される可能性があることにある。

2011 年までのメーカー別のシェアについては、現在米国ハイブリッド市場で 60% 以上のトヨタが引き続き首位を維持するものの 40% まで下がり、現在のシェアが 31% のホンダも 20% まで下がる

予測される。一方、シボレーが 2010 年末までに米国ブランドで最大の 15% 近くまで伸びるものと見込まれる。

< 株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィックについて >

当社は J.D. パワー・アンド・アソシエイツ（本社：米国カリフォルニア州）の日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として 1990 年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA 機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。インターネット上でホームページを開設しており、会社概要や提供しているサービスなどの情報を次のアドレスで入手できる。

J.D. パワー アジア・パシフィック ホームページ <http://www.jdpower.co.jp>

< 当調査に関するお問い合わせ先 >

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション・グループ 川野

住 所： 東京都港区虎ノ門 5-1-5 虎ノ門 45MT ビル (〒105-0001)

電 話： 03-3459-1865

F A X： 03-3459-1810

e-mail： mkawano@jdpower.co.jp

< ご注意 >

本紙は報道用資料です。(株) J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動に転用することを禁止します。